

情報通信部門

部門長 仙石 正和

目 的

『中山間地重点型災害時アドホックネットワークと統合GISの構築』

災害時に最も重要視された情報通信分野において、経費の集中投資が困難な中山間地で展開が可能な情報通信網と地理情報システムを構築する。

- ・気球による空中リレー機能を用いた移動型アドホック通信システム（スカイメッシュ）を構築
- ・保健・医療・福祉支援を目的としたリアルタイム型災害対応統合GISを構築

経 緯

2004年10月23日に発生した中越大震災の教訓から、情報通信の災害における重要性が認識され、さらに地震災害からの復旧・復興のなかで具体的な情報通信に関連した検討項目が明らかとなった。そこで、新たに新潟県における災害情報通信と災害地理情報システムの研究を目的に情報通信部門が設立された。

本年度の活動（総括）

災害に対する情報通信ならびに地理情報システムの応用研究を通じて、気球によるアドホック通信システムあるいは地域看護師支援システムなどの実証実験を行った。

<構成分野> 本部門は以下の2分野から構成される。個々の活動については、「分野の紹介」で説明する。

- 災害通信分野
- 災害地理情報分野

